

まなざし、呼び覚ます。
眼輪筋・^{がんか}眼窩脂肪・目袋ゾーンの全域^{*1}に、ハリを。
独自のバンテージ^{*2}技術で引き上げる、目力印象。

『B.A アイゾーンクリーム』 2026年10月1日誕生

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小林 琢磨）は、ポーラ最高峰ブランド「B.A」より、これまでの目もとと研究の成果を生かした、目もとの全域ハリを目指す新『B.A アイゾーンクリーム』（税込¥19,800/税抜¥18,000）を、2026年10月1日より発売します。

<ブランドについて>

ポーラ最高峰ブランド「B.A」は、1985年の誕生以来“人の可能性は広がる”をポリシーに掲げ、年齢にとらわれず常に自分史上最高の生き方を提唱しています。2025年からは、「再生するような全域ハリ肌」を目指すアイテムとして、第7世代のベーシックスキンケアを展開しています。

<製品特長>

B.Aのアイケア品は、1988年の誕生以来、38年にわたり進化を続けています。今回新たに発売となる『B.A アイゾーンクリーム』は、目もとの独自構造^{*3}に着目し、眼輪筋・眼窩脂肪・目袋ゾーン全域に、B.Aでハリを届けることを目指したアイテムです。9種のオリジナル成分を含む10種の美容成分^{*4}を配合し、目もとの様々な肌悩みをケアします。また、ポーラ化成工業 研究生産拠点「TDC^{*5}」の独自技術により、構造還元オイル^{*6}を配合した、ハリ感・引き締め感のあるベールを実現する「3Dアイバンテージ処方」を採用することで、塗った瞬間はとろけるように浸透感を感じ、塗布後にはハリ感・引き締め感を感じられる、自社従来品では実現できなかった感触変化を実現しました。

<発売計画>

全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約400店舗、旗艦店「ポーラ ギンザ」・全国百貨店・専門店等ポーラコーナー108店舗を含む約2,500店、日本国内空港免税店コーナー11店舗、ポーラ公式オンラインストア（<https://www.pola.co.jp/ec/>）にてお取り扱いします。（店舗数は、2025年12月末時点）
海外では、中国大陸・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・韓国・マレーシア・インドネシアの9の国と地域にて順次発売予定です。

※1：使用範囲全体 ※2：引き締め感のあるベールを肌上に形成すること ※3：角層 ※4：保湿成分 ※5：テクニカルディベロップメントセンター（ポーラ化成工業 研究生産拠点）
※6：立体構造に還元性のあるオイル物性のこと。（ベヘン酸/エイコサン二酸）グリセリル、リンゴ酸ジイソステアリル、パルミチン酸エチルヘキシル（ベール形成成分）



2026年10月1日発売

B.A アイゾーンクリーム

販売名：ポーラ B.A アイゾーンクリーム 7
（目もと用クリーム）

26g ¥19,800（税抜 ¥18,000）

- ◆ アレルギーテスト済み
（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）
- ◆ 乾燥による小じわを目立たなくします。（効能評価試験済）

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドコミュニケーション部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111



まなざし、呼び覚ます。
眼輪筋・眼窩脂肪・目袋ゾーンの全域^{※1}に、ハリを。
独自のバンテージ^{※2}技術で引き上げる、目力印象。

B.A アイゾーンクリーム 2026年10月1日誕生

「B.A」は、ポーラ最高峰ブランドとして1985年に誕生。

“人の可能性は広がる”をブランドポリシーに掲げ、
年齢にとらわれず常に自分史上最高の生き方を提唱しています。
2025年からは、「再生するような全域ハリ肌」を目指すアイテムとして、
第7世代のベーシックスキンケアを展開しています。

ポーラは目もと領域においても、
1968年から目もとの独自構造^{※3}に着目し、ハリ研究を進化させてきました。

今回、新たに登場する3代目のB.A アイゾーンクリームが目指すのは、
眼輪筋・眼窩脂肪・目袋ゾーン全域に、B.Aでハリを届けること。

9種のオリジナル成分を含む10種の美容成分^{※4}を配合し、目もとの様々な肌悩みをケア。
構造還元オイル^{※5}によって、ハリ感・引き締め感のあるベールを実現する「3Dアイバンテージ処方」を採用。
濃密^{※6}なクリームがとろけるように浸透^{※7}し、引き締めるようなハリのある感触を追求しました。

目もと研究を進化させてきたB.Aから、
目もとの全域ハリを目指す新アイクリームが、誕生します。



2026年10月1日発売

B.A アイゾーンクリーム

販売名：ポーラ B.A アイゾーンクリーム 7
〈目もと用クリーム〉

26g ¥19,800 (税抜 ¥18,000)

- ◆ アレルギーテスト済み
(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)
- ◆ 乾燥による小じわを目立たなくします。(効能評価試験済)

※1：使用範囲全体 ※2：引き締め感のあるベールを肌上に形成すること ※3：角層 ※4：保湿成分
※5：立体構造に還元性のあるオイル物性のこと。(ベヘン酸/エイコサン二酸)グリセリル、リンゴ酸ジイソステアリル、パルミチン酸エチルヘキシル (ベール形成成分)
※6：感触のこと ※7：角層まで

POLA

ポーラのアイゾーンケアの変遷

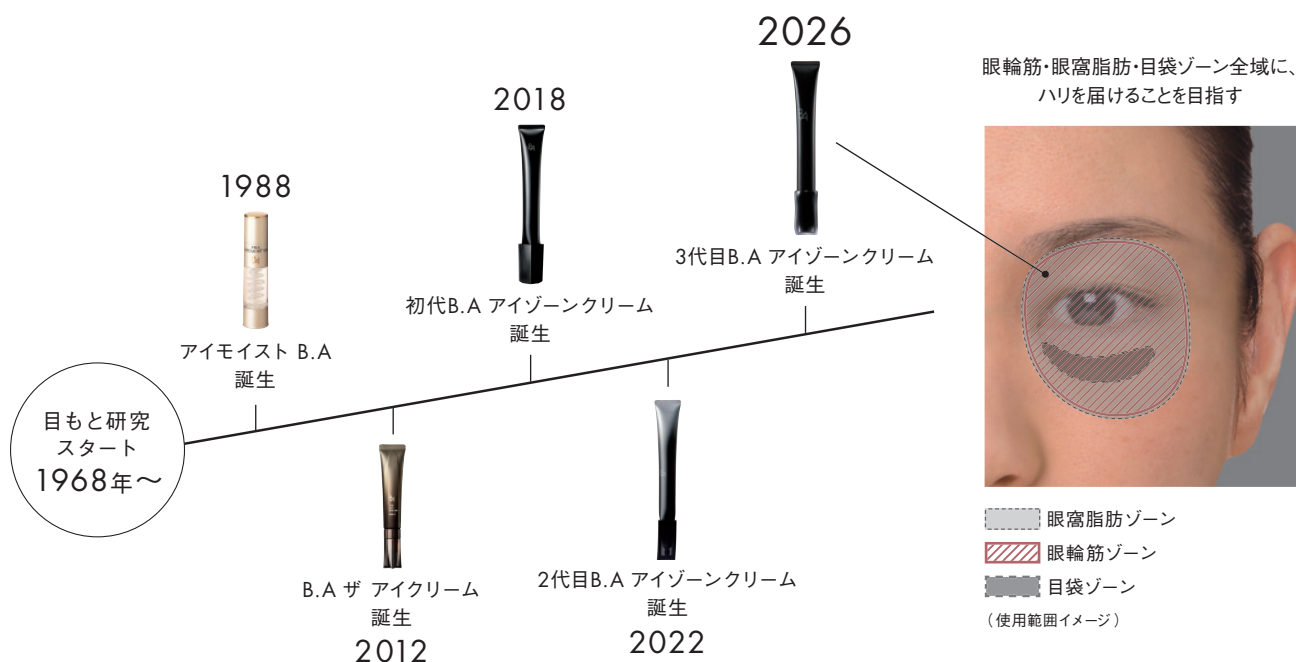
ポーラは1968年から目もとの独自構造^{※1}に着目し、目もとは顔印象や年齢印象に大きな影響を与える部位と考え、研究を続けてきました。

また、1985年に誕生したポーラ最高峰ブランド「B.A.」では、ハリ研究を進化させてきました。2025年には第7世代のベーシックスキンケアを発売し、「全域^{※2}ハリ」という価値を提案しています。

ポーラは、この「ハリ」と「目もと」の2つの研究を掛け合わせながら、目もとケアを追求してきました。B.A.のアイケア品は1988年の誕生以来、38年にわたり進化を続けています。

そして2026年。これまでの目もと研究の成果を生かし、眼輪筋・眼窩脂肪・目袋ゾーン全域にB.A.でハリを届けることを目指す、3代目のB.A. アイゾーンクリームが誕生します。

※1：角層 ※2：使用範囲全体



目もとは、人の印象に大きな影響を与える「印象ゾーン」

目もと部分が異なるシミュレーション画像の比較

ポーラでは、目もとが自身の魅力を伝えると同時に、周囲との良好なコミュニケーションを築くための重要な「印象ゾーン」であると考えています。

右の画像は、左の画像の目もとに、乾燥によるうるおい不足やハリのないなどの状態を追加し、人の印象を比較したものです。このように、目もとの違いで、人に与える印象が変わることがわかります。



うるおってハリのある目もと



乾燥してハリのない目もと



[製品特長]

目指す肌

目もとの独自構造^{※1}に着目。バンテージ^{※2}で、目力印象引き上げる。
大人のまぶた、目袋に、全域^{※3}ハリを。

成分

9種のオリジナル成分を含む、10種類^{※4}の美容成分を配合。

9種のオリジナル成分

NEW

ポーラオリジナル複合美容成分「BAアイコアエキス」

ヘリクリスムイタリウムエキスとセイヨウノコギリソウエキスの複合成分

B.A 第7世代 スキンケア^{※5}共通成分: BAコアエキス、YACエキス、EGクリアエキス、仙人穀ロスマ、SCRキッド
従来品からの継続使用成分: 桑の実エキスCB、CFエキス、MUSエキス

※1: 角層 ※2: 引き締め感のあるベールを肌上に形成すること ※3: 使用範囲全体 ※4: 保湿成分 ※5: B.A ローション、B.A ミルク、B.A クリーム

処方

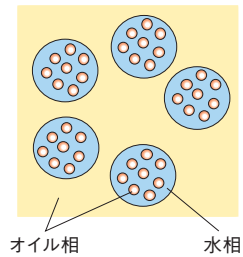
構造還元オイル^{※1}でハリ感・引き締め感のあるベールを実現する 「3Dアイバンテージ処方」

3Dアイバンテージ処方は、目もとに立体感^{※2}を与え、ハリ感・引き締め感のあるベールを形成する処方です。この処方のカギとなるのが「多相エマルジョン」技術と、TDC^{※3}独自技術による「構造還元オイル」となります。

多彩な感触変化を生み出す乳化技術 多相エマルジョン

B.A アイゾークリームでは、従来品より、オイルの中に水、さらにその中にオイルが閉じこめられている多相エマルジョンを採用しています。

塗り始めると多相エマルジョンが壊れ、外側のオイル相でコクのある伸び広がりを感じ、次に水相が肌に触れて溶け込むような一体感、塗布後は内側のオイル相が密着することでハリ感を感じられます。

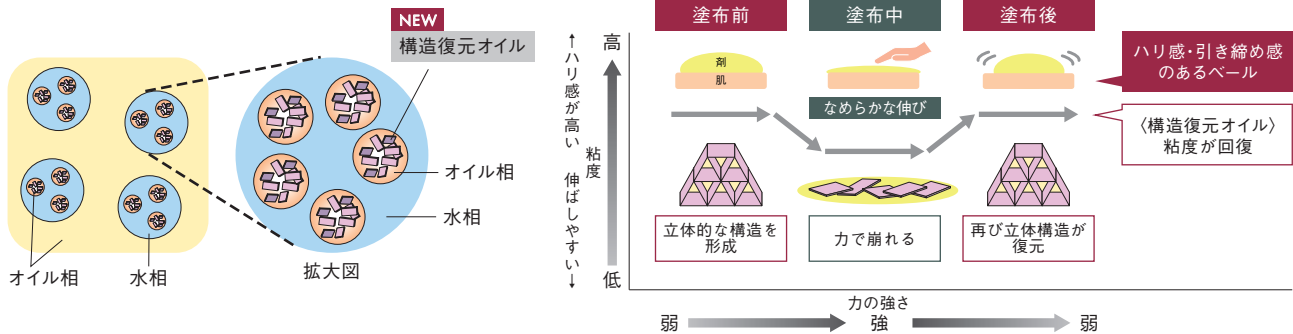


NEW

とろけるような浸透感と、ハリ感・引き締め感を実現する「構造還元オイル」

今回新たに、ポーラ化成工業 研究生産拠点「TDC」の独自技術により、多相エマルジョンのオイル相の中に、力の有無で感触が変化する「構造還元オイル」を配合しました。構造還元オイルは、粘性のある立体的な構造を形成するオイルです。力が加わると立体構造が崩れることで粘度が低下し、反対に力を抜くと立体構造が還元することで粘度が回復する特性を持っています。

これにより、塗った瞬間はとろけるように浸透感を感じ、塗布後にはハリ感・引き締め感を感じられる、自社従来品では実現できなかった感触変化を実現することに成功しました。



(イラスト・グラフはイメージです)

※1: 立体構造に還元性のあるオイル物性のこと。(ベヘン酸/エイコサン二酸)グリセリル、リンゴ酸ジイソステアリル、パルミチン酸エチルヘキシル (ベール形成成分)

※2: ツヤ感で立体的に見える ※3: テクニカルディベロップメントセンター (ポーラ化成工業 研究生産拠点)

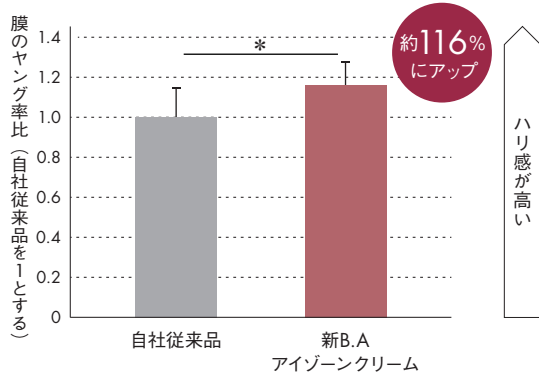


[製品特長]

「3Dアイバンテージ^{※1}処方」によるハリ感・引き締め感

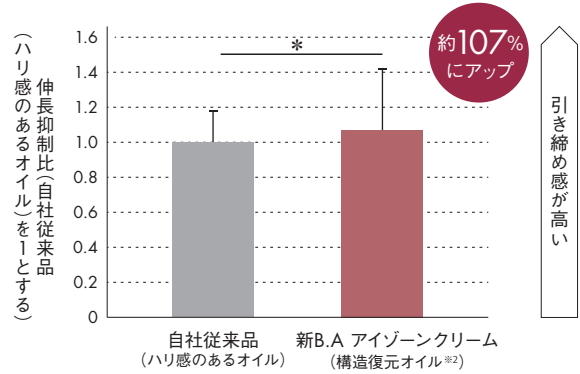
自社従来品と、新B.A アイゾークリーム^{※1}の膜のハリ感・引き締め感を検証すると、自社従来品に比べ、新B.A アイゾークリームは、どちらも向上していることがわかります。

膜のハリ感アップ



n=7, 平均値+標準偏差, t検定, *: p<0.05
シャーレにサンプルを充填し、ヤング率を測定。

膜の引き締め感アップ



n=3, 平均値+標準偏差, t検定, *: p<0.05
人工皮革に各オイルを塗布、乾燥し、人工皮革の伸びを測定。

(B.Aリサーチセンター (ポーラ化成工業) 調べ)

※1: 引き締め感のあるベールを肌上に形成すること

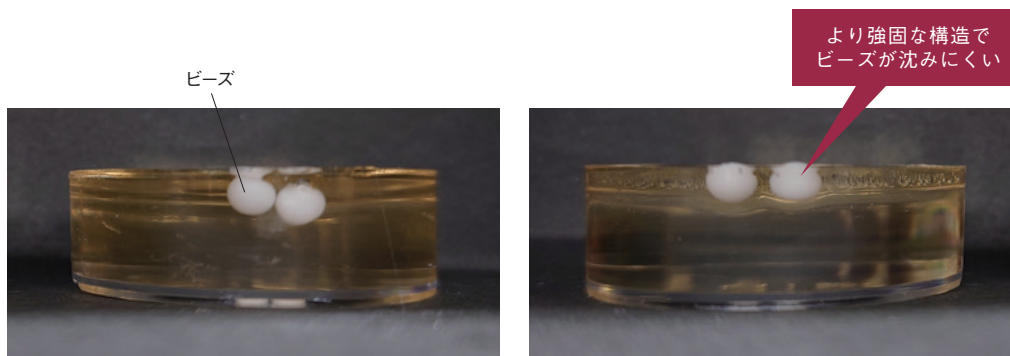
※2: 立体構造に復元性のあるオイル物性のこと。(ベヘン酸/エイコサン二酸)グリセリル、リンゴ酸ジイソステアリル、パルミチン酸エチルヘキシル (ベール形成成分)

B.A アイゾークリーム & B.A ローション[※]の成分同士の連動

B.A ローションの成分とB.A アイゾークリームの成分が引き合うことで、強固なベールを形成します。

左側は、B.A アイゾークリームの一部成分のみ、右側は、アイゾークリームとローションの一部成分を混合したサンプルの上に、それぞれビーズを置いたときの状態を撮影したものです。

左側は、ビーズが沈んでいることに対し、右側はほぼ沈んでいないことがわかります。この現象は、成分同士が引き合うことで、強固なベールをつくることを示しています。



B.A アイゾークリームの成分を混合したサンプル

B.A アイゾークリームと
B.A ローションの成分を混合したサンプル

上にビーズを置いた後の状態を撮影

※: ポーラ B.A ローション 7
(B.Aリサーチセンター調べ)



[製品特長]

感性品質

感触

濃密^{※1}なクリームがとろけるように浸透^{※2}し、
肌にハリ感と引き締め感を与える感触。

※1: 感触のこと ※2: 角層まで



香り

感性科学発想。

アップサイクル原料^{*}であるオークウッドを使用した、
B.A スキンケア共通のフローラルウッドィアコードをベースに、ピオニーをイメージした、
すっきりと透明感を感じるようなフレッシュフローラル調の香り。



※: フランス産オークからワイン樽をつくる過程で生まれる副産物をアップサイクルした原料

(イラスト・画像はイメージです)

デザイン

コンセプト:「躍動の予兆」

奥行きを感じさせる曲面の繊細な揺らぎと、
堂々と力強いシルエットによって躍動の予兆を感じさせるデザイン。





[製品特長]

アートワーク

B.Aの生命美を長年にわたり表現いただいている、世界的フラワーアーティストの東 信氏と、新しいブランドアートに挑戦。「植物」「自然」「人」その様々な生命の営み、時間を、多層的に重ね合わせ、時間という概念からも解放された、神秘的で可能性に満ちた世界を想像させるアートワークです。

B.Aのアートワークコンセプト： 「Timeless Possibility (時空からの解放)」

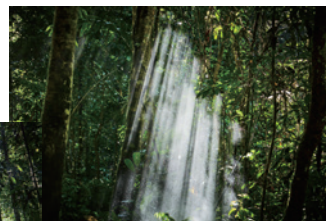
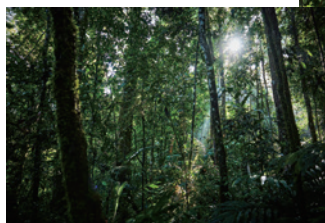
生命の営みを多層的に
「重ね合わせ」て出来上がっている。
物事の本質や生き方、
そして人の中には何層もの、何面もの顔がある。
1つのビジュアルの中で多層的に魅せることで、
その複雑さや多面性を提示し、見なれた様々な現象の融合が
可能性をつくり、世界を変え新しく広がっていくことを表現。



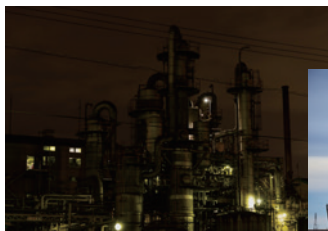
植物



自然



人



東 信 (あずま まこと)

東 信、花樹研究所『AMKK』主宰。東京・南青山に、オートクチュールの花屋を構える。また2005年からニューヨーク、パリ、ドイツなど国内外で精力的な活動を展開。花、植物のみが有する神秘的な形を美的なレベルに変換し表現することで、植物の価値を高める活動を続けている。

POLA



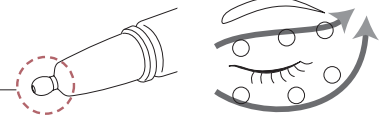
[製品特長]

使用方法

目もとの6点に置き、目頭からこめかみに向かって、目もとを引き上げるようにアイゾーン全体に大きいストロークでやさしく伸ばし、指腹全体を使って広い範囲に伸ばします。引き上げるようになじませた後、記憶させるようにこめかみで3秒キープします。

朝：両目で真珠1粒位
夜：片目で真珠1粒位

チューブ先端が真珠1粒位の目安



眼輪筋と眼窩脂肪に着目した目もとオリジナルケアメソッド

☀ 目覚めるようなハリ感をプラスする、朝のメソッド

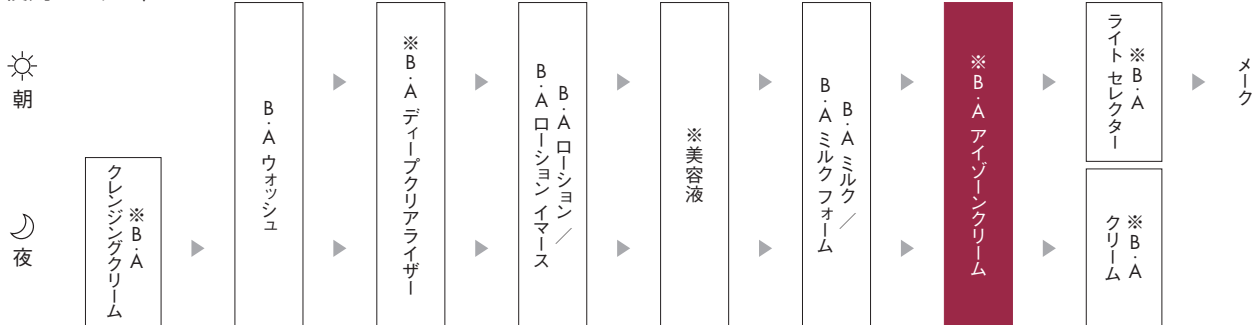
- ①肩頭の下を親指の指腹で持ち上げるように3秒プッシュします(3回)。
- ②目の下に中指と薬指を密着させ、こめかみまで引き上げるようにやさしくすべさせます(3回)。最後にこめかみをプッシュします。

🌙 いたわるように穏やかに整える、夜のメソッド

- ①目の下に中指と薬指を密着させ、こめかみまで引き上げるようにやさしくすべさせます(3回)。
- ②目を閉じて、中指と薬指をまぶたに密着させ、こめかみまでやさしくさすります(3回)。こめかみをもみほぐすように円を描きます。

使用ステップ

〈使用ステップ〉



※肌の悩み・状態に合わせてお使いください。クレンジングクリームは、メイク・UVカット品使用時は必ずお使いください。

社会・地球環境への取り組み

商品外箱



生物由来(バイオマス)のインクを採用
生態系の保護に繋げる

森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとに作られた木材を使用

容器



植物由来PE・PETを採用

化石資源の保護や二酸化炭素の削減に貢献
※PE: ポリエチレン PET: ポリエチレンテレフタレート

香料



アップサイクル香料原料の採用

フランス産オークからワイン樽をつくる過程で生まれる副産物をアップサイクルした原料をベース香料に使用

パンフレット



WEBパンフレットを採用

ペーパーレスへの取り組みとして、箱に記載されたQRコードから使用方法、全成分表示が閲覧可能
※5言語対応(日本語・英語・繁体字・簡体字・タイ語)

POLA



[製品特長]

主な配合成分

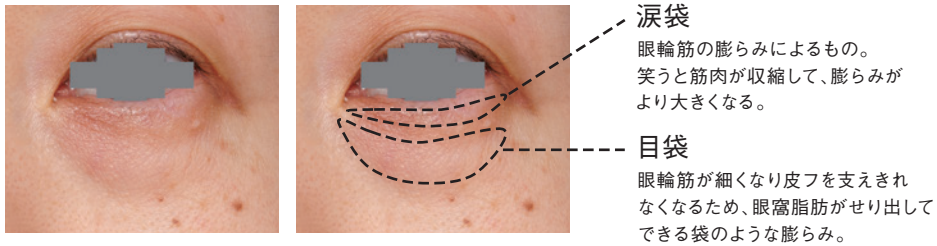
配合目的	配合成分	全成分表示名称
保湿成分	NEW BAアイコアエキス*	ヘリクリスムイタリクムエキス、セイヨウノコギリソウエキス
	桑の実エキスCB*	マグワ果実エキス、アーチチョーク葉エキス
	MUSエキス*	チョウジエキス、オトギリソウ花／葉／茎エキス
	CFエキス*	マロニエエキス、マドンナリリー根エキス
	グルコシルヘスペリジン	グルコシルヘスペリジン
	BAコアエキス*	シトセイラタマリシホリアエキス、ナギイカダ根エキス
	仙人穀ロスマ*	センニンコク種子エキス、セージ葉エキス
	YACエキス*	ヨモギ葉エキス
	EGクリアエキス*	レンゲソウエキス
	SCRキッド*	ビワ葉エキス

※：ポーラオリジナル複合成分またはポーラオリジナル成分。

◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

目もと印象に影響を与える「目袋」

B.Aリサーチセンターでは、目もと印象に影響を与える要素として、「目袋」に新たに着目しました。目袋は、目の下にできる膨らみのことを指します。以下のイメージは、「目袋」と「涙袋」の違いを示したものです。



目袋の深さは、加齢に伴い変化することが分かっています。20代では、まだ目袋は見られず、目もとの悩みは青クマや茶クマなどに表れることが多いですが、30～40代になると目もと構造に起因するたるみ、黒クマなどが表れ始め、50代になると、目袋として顕在化する傾向が多くみられます。

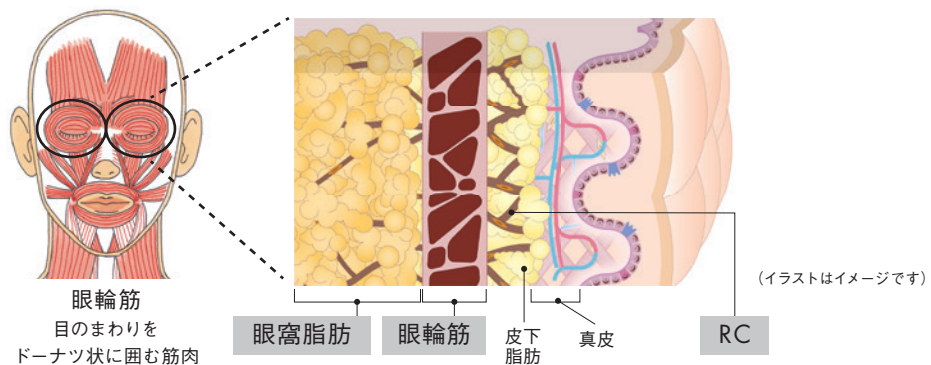
目袋の深さ			
	20代～	30～40代	50代～
自覚(原因)	青クマ (血管性: 血流停滞、ヘモグロビン増) 茶クマ(色素性)		たるみ、黒クマ(影、構造) 茶クマ(色素性)

※画像は代表例です。

【これまでのポーラの知見】目もとのハリ・立体感を保つために重要な「眼輪筋」

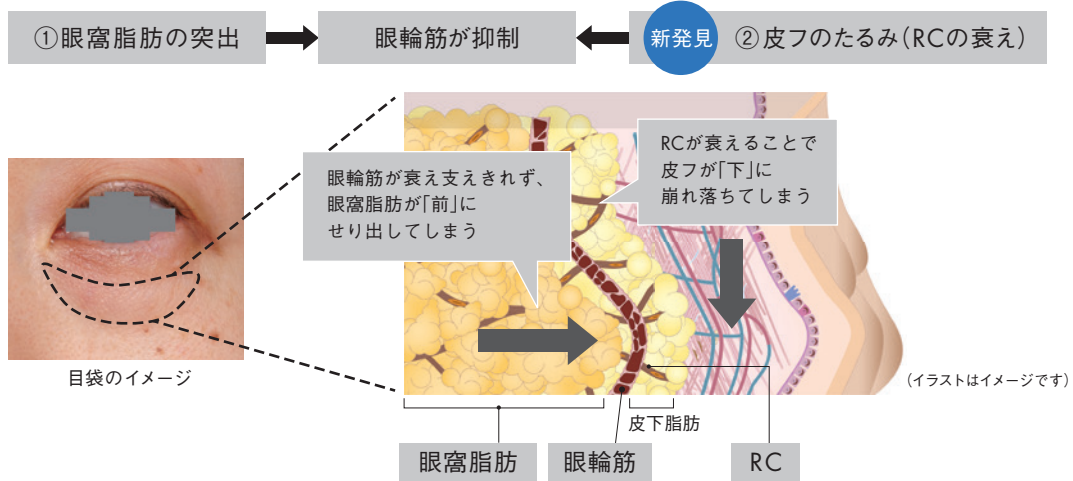
目もとの皮フは真皮が薄く、皮フ表面のすぐ内側に眼輪筋が存在します。眼輪筋は、目の体幹ともいえる筋肉で、目もとの厚みやハリ、立体感を生み出すとともに、眼球の周囲を取り囲む眼窩脂肪が前方向へ流れ出るのを防ぐ堤防のような役割を担っています。また、眼輪筋の周囲には真皮と眼輪筋をつなぐ皮フ支持帯のRC(Retinacula cutis)が存在し、眼輪筋を介して目もとの構造を支えています。そのため、ハリ・立体感のある目もとを維持するためには、しなやかで柔軟性のある眼輪筋が必要不可欠です。

B.Aリサーチセンターでは、2016年から眼輪筋研究を本格的に開始し、2018年には、眼輪筋の量が加齢によって減少することを発見。2022年には、眼輪筋において筋線維が減少し、結合組織が増加する「線維化」が加齢とともに進行することを発見しました。線維化した眼輪筋では伸縮性が低下すると考えられ、くぼみやたるみなどの形状変化、さらにはクマやくすみなどの目もとの色調変化との関連が示唆されています。



「目袋」が発生するメカニズム

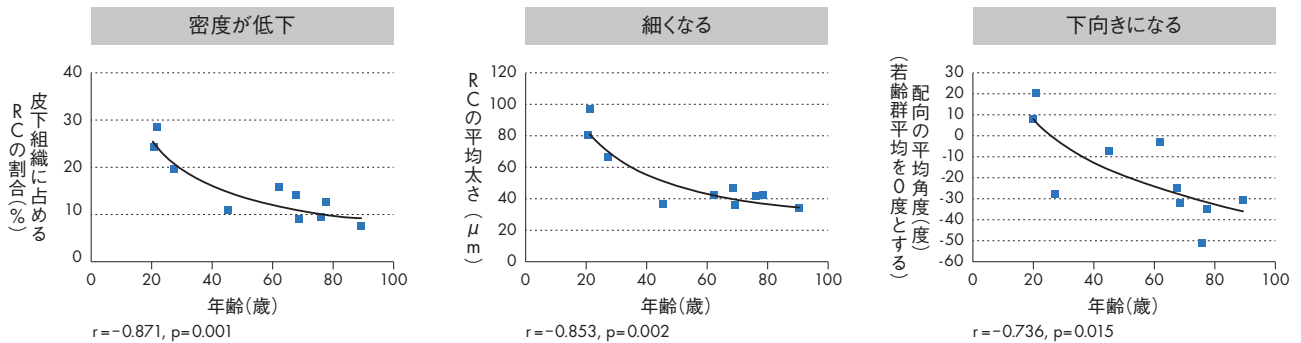
目袋の膨らみは、①眼窩脂肪が「前方向」に突出することと、②皮フが「下方向」に崩れ落ちてしまうことによって発生します。B.Aリサーチセンターでは、②の原因が、加齢によるRCの衰えによるものだということが今回初めて突き止めました。



新発見

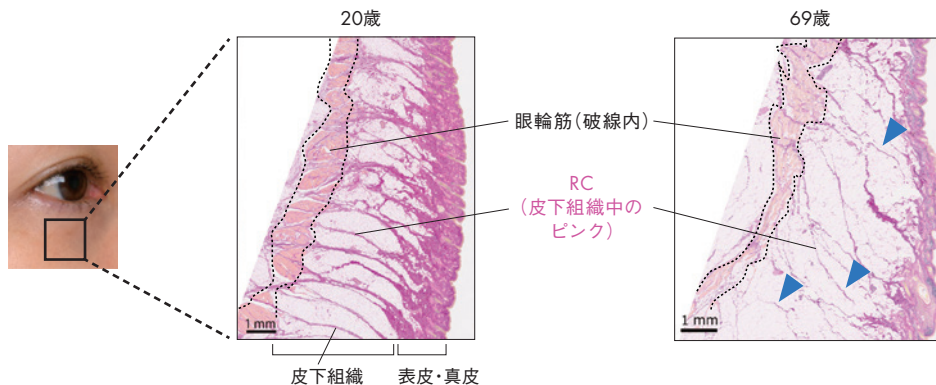
下記のデータから、下まぶたのRCは、年齢が高くなるほど、密度が低下し、細くなり、重力方向へと下垂してしまうことがわかりました。したがって、下まぶたの皮下組織を支えるRCの量・質ともに、加齢によって低下していると考えられます。

加齢に伴うRC密度・太さの変化



下まぶた組織をエラスチカ・ワンギーソン法により染色した画像から、RCが皮下組織に占める密度、平均太さ、配向角度を算出。
n=10, r: ピアソンの積率相関係数, p: ピアソンの積率相関分析のP値

(B.Aリサーチセンター調べ)



下まぶた組織をエラスチカ・ワンギーソン法により染色し、観察した。
(矢印は加齢によって密度が低下し、細くなり、さらに重力方向へと下垂したRCを指す。)

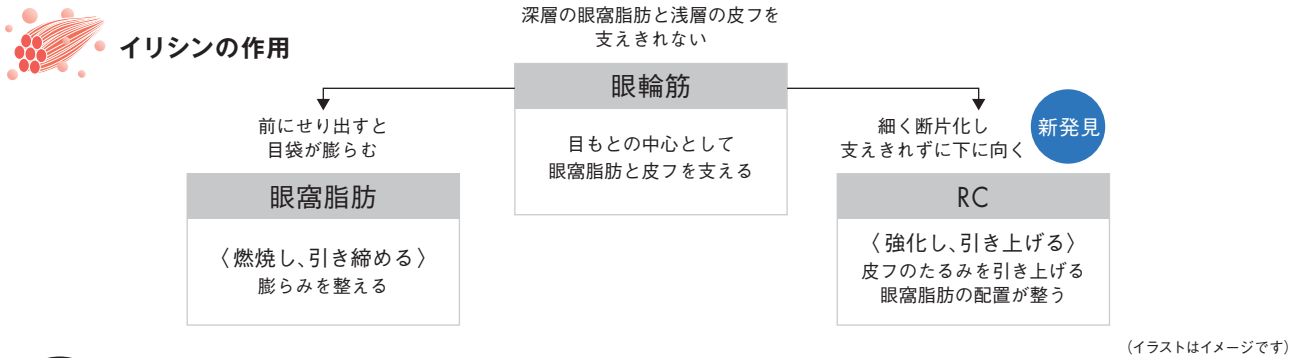
※画像は代表例です。
(B.Aリサーチセンター調べ)

新着目

眼輪筋から産生される因子「イリシン」が、目袋改善につながる

今回、B.Aリサーチセンターでは、眼輪筋から産生される因子「イリシン」が、目袋の改善につながることを突き止めました。イリシンは、筋肉細胞で産生されるマイオカインの1種で、脂肪の燃焼を高め、脂肪を減らす効果があると知られています。今回新たに着目した「イリシン」は、

- ① 眼輪筋が衰えることで「前方向」にせり出してしまいう眼窩脂肪を燃焼させる
 - ② RCの量を増やし、太く強固にすることで、皮フが「下方向」へと崩れ落ちることを防ぎ、たるみを引き上げる
- という作用が期待されます。



新着目

イリシンの働き① 眼窩脂肪の燃焼

イリシンには、脂肪を蓄積する白色脂肪細胞のベージュ化を促し、脂肪燃焼に関わる機能を高める作用があることが知られています。そのため、眼輪筋から産生されたイリシンは眼窩脂肪に働きかけ、脂肪燃焼を促進することで、眼窩脂肪を引き締めると考えられます。

図1は、脂肪滴のサイズを顕微鏡写真と比較したものです。脂肪細胞にイリシンを添加すると、赤で示した脂肪滴のサイズが小さくなるのが分かります。通常、白色脂肪細胞では脂肪を溜め込むため、大きな脂肪滴が観察されますが、ベージュ脂肪細胞ではエネルギー消費が活発になり、脂肪滴が小さくなっています。

図2は、この脂肪滴のサイズを実際に計測したもので、80%にサイズダウンしていることが分かります。

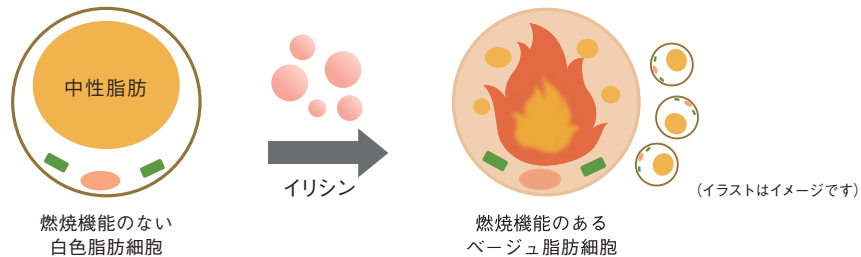
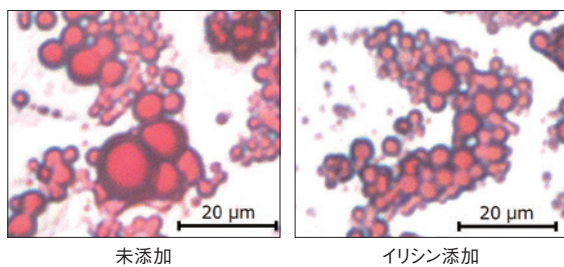
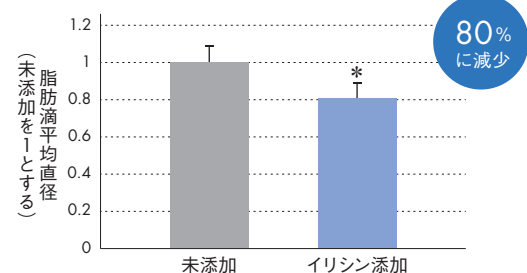


図1



赤色：脂肪滴
ヒト前駆脂肪細胞にイリシンを添加し培養。脂肪滴を染色し観察した。
※画像は代表例です。

図2 <イリシン添加による脂肪滴のサイズ変化>

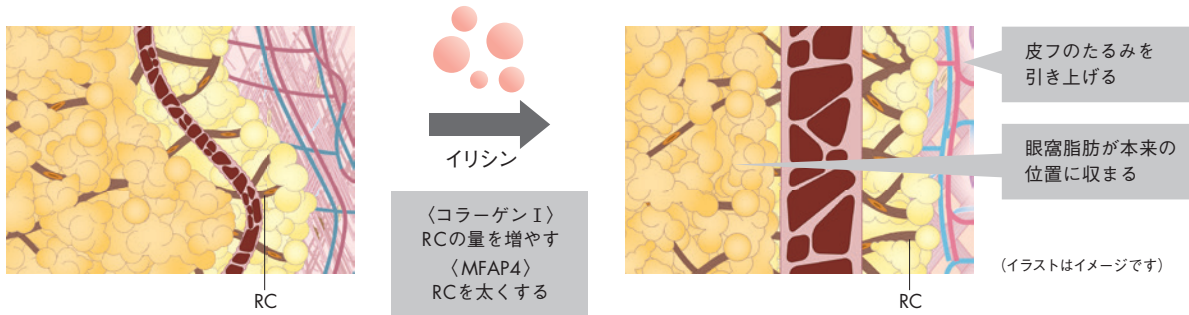


ヒト前駆脂肪細胞にイリシンを添加し培養。画像より脂肪滴の直径を算出し解析した。
n=3, 平均値+標準偏差, t検定, *: p<0.05 (B.Aリサーチセンター調べ)

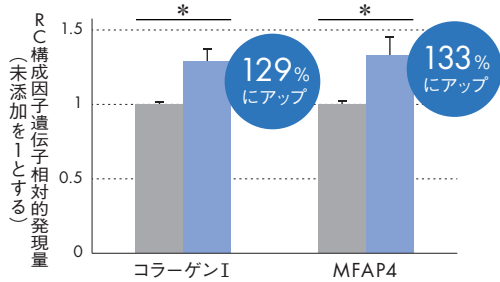
新発見

イリシンの働き② RC構成タンパク質(コラーゲンI・MFAP4)を増やす

イリシンがRCへ作用すると、RCのメイン構成タンパク質である「コラーゲンI」と、RC線維束を束ね太くするタンパク質である「MFAP4」を増やします。この働きにより、RC構造が強化され皮膚の支持力が向上します。その結果、皮膚のたるみが改善されるとともに、上まぶた・下まぶたの眼窩脂肪も本来の位置に保たれやすくなることが示唆されます。



コラーゲンI (RCの量を増やす) とMFAP4 (RCを太く強固にする) が増加



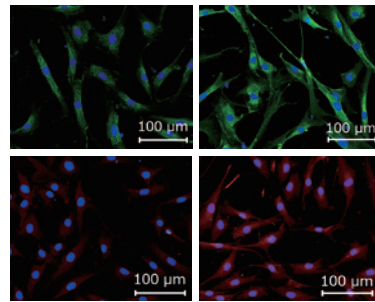
■ 未添加 ■ イリシン添加

腱細胞にイリシンを添加し、コラーゲンI、MFAP4の遺伝子発現量を調べた。

n=5, 平均値±標準偏差, t検定, *p<0.05

緑色: コラーゲンI
青色: 細胞核

赤色: MFAP4
青色: 細胞核



未添加

イリシン添加

腱細胞にイリシンを添加し、免疫染色を実施(コラーゲンI: 緑、MFAP4: 赤、細胞核: 青)。RC構成タンパク質の発現を確認した。

※画像は代表例です。(B.Aリサーチセンター調べ)